

学級活動（Ⅰ）学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日（〇）〇校時

学 級：第3学年〇組 〇名

場 所：3年〇組教室

授業者：〇〇 〇〇

1 単元名 議題「28人なかよしサニーパーティーをしよう」

2 単元の目標

○みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。

（よりよい生活を築くための知識・技能）

◎楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。

（集団や社会の形成者としての思考・判断・表現）

○楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

（主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度）

3 単元について

（Ⅰ）児童の実態

本学級の児童は、素直で明るく、何事にも前向きに取り組める児童が多い。自分の考えを聞いてほしいという思いが強く、積極的に発表できるが、自分の思いを伝え終わると満足してしまったり、友達の意見を最後まで聞くことができないことがある。一方で、発表することへの恥ずかしさから、自分の考えがあってもみんなの前で発言できない児童も多い。さらに話し合い自体についていきづらい児童もいる。そこで、授業や生活の中で意図的に友達と交流する場面を作り、交流することの楽しさや大切さを味わえるようにしている。

また、学級会で話し合っ実践した中での成長や課題をみんなで振り返り、次へ生かしていくことを大切にしてきた。その一方で、まだまだ友達の思いよりも「自分の思いをまず聞いてほしい」という様子がうかがえる。そこで、短い時間であってもできるだけみんなの思いを出し合い、共有する場を設けたり、自分たちで決めた学級目標にいつも立ち返って考えたりすることで、「みんなで」という思いをもって取り組めるようにしているところである。

学級活動においては、これまでに2回の学級会を開いた。1回目の「サニー（3の2）だけの学級目標を決めよう」では、「学級会は何のためにするのか」ということを教師から伝えて、時間をかけてみんなの思いを出し合い、納得するまで話し合うことを通して、学級会がもつ意味や進め方の共通理解を図った。

1回目の議題は、教師から「どんなクラスにしたいかをみんなで話し合っ決めて、3年生の最後に『みんなでいいクラスにできたな』と思えるようにしたいから」とみんなに提案した。その提案をもとに全員が意見を書き、出し合い、意見を分類するところまで、教師が司会をして話し合いを進めた。その後、自分たちで話し合っ決めたという思いがもてるように、最後のまとめしていく段階を司会グループを決めて、時間をかけて話し合った。「みんながつくりたいクラスを五つの合言葉にまとめよう」というめあてで話し合う中で、どの意見も大切にしまとめていく難しさ、後半になるにつれて発表する児童が限られてしまったことが課題であった。決定までに時間はかかったが、一人ひとりのこだわりを認めたり、新しい提案に自分の意見を譲ったりできる姿勢、少数派のことを考えた解決策やまとめる意見を取り上げて、評価することができた。また、実践後に振り返

リカードを使って取組を振り返ることで、よかった所や次への課題を明確にすることができた。

2回目の「なかよく楽しいサニーパーティーをしよう」は、全員に議題カードの書き方を説明し、意見を書く時間をとるところからスタートした。改めて「学級会＝クラスがよりよくなるための会議」であるということを伝え、今みんなが「やりたいこと」「つくりたいこと」「解決したいこと」などを1、2年生でやったことを出し合いながら考えさせた。

議題カードからは、「がんばったねお楽しみ会・パーティー」「みんな遊びについて」「クラスみんなのいいところポスト作り」「雨の日の過ごし方」「授業集中作戦」の5種類の議題が提案された。切実感や必要感のある話合いにするために、学級全体で五つの中から、「今一番に話したいもの」をみんなが意見を出し合って決めた。最終的に「まだクラスみんなで遊んでないから、みんなが楽しくなるようにたっぷり遊んで、もっとみんなの仲をよくしたい」という思いから、お楽しみ会について話し合うことになった。提案理由の中から、「みんなが楽しめる」と「仲良くなれる」というキーワードを教師からみんなに提案し、児童がイメージしやすいと答えた「みんなが楽しめる」を選んで、今回の話合いのキーワードとした。

話合いでは、比べ合うまでに、それぞれの意見の具体的な説明やルールをまとめて掲示してから出し合っておくことで、ある程度、内容の共通理解を図ることができていた。一方で、今回はあえて、みんなの思いを大切にするために、12の意見を事前にしぼらずに比べ合う活動に入ったことで、時間内にまとめることが難しかった。この経験をもとに、次回の話合いで、事前にある程度意見を絞っておく必要があること児童から出てくることを期待している。2回目の学級会では、心配な気持ちが素直に出せたこと、みんなが楽しめるような解決策がたくさん考えられたこと、今までの経験を生かした意見や実際にやる時のことを考えた意見を取り上げて評価することができた。また、まとめる段階では、「おばけやしき+工作遊び」か「工作遊び」のどちらかにしぼられたところで、「工作遊びはテーマがないから、好きな物が作れて『みんなが楽しめる』ので、そっちの方がいいと思います。」というキーワードを意識した意見にみんなが納得して、決定することができた。

振り返りでは、「〇〇さんのみんなが楽しめるという意見で納得できた」や「みんながたくさんゆずり合ってよかった」という意見が多く見られ、話合いをまとめる発言や相手のことを考えた話合いのよさをたくさんの児童が実感していたことが成果であった。一方、比べ合う段階では、一つの意見を自分の中で消化しきれないままに話合いが進んでいる様子が見られ、一度立ち止まってそれぞれが考える時間をとる必要があった。また、「みんなが楽しめる」ということを意識して比べたり、「本当にみんなで楽しめるのか」という本音にせまるような話合いができなかったりしたことが課題であった。

3回目の「サニールレー作戦でころろを一つにしよう」は、運動会が延期になったことから、急遽、話し合いたいという声から議題が決まった。運動会本番までにやっておきたいことと本番にしたいことについて話し合い、意見を一つにしぼる必要がなかったことから時間内にある程度決めることができた。一方で、一つひとつの意見に対して、十分に時間をとって深く話し合うことができなかったことが課題であった。

今後も友達の発言のよさを価値付けたり、事後の活動で課題となったことを次への目的意識につなげたりして取り組めるようにしたい。

(2) 議題について

本議題は、9月と10月の学級目標のふり返しをした後に2学期に最後に話したい議題を考えて、出てきた意見の中から今みんなが話したい議題を学級全員で相談して決めたものである。その際、「もっとみんなに楽しんでほしいけれど、なかなか系の活動をする時間がない。」「他の系の活動も楽しみにしているから、みんながもっと系活動を楽しめるようなことをしたい。」「係のお楽しみ会をやったことがないからやってみよう」という思いから係のお楽しみ会もしたいという意見がたくさん出てきたので、こちらはすでに1時間とって行うこととなった。今回は、もう

1 時間で何を行うかということ話し合う。

どんな議題がいかを話し合う直前に、転入生がくることがわかり、「転入生も楽しめて、このクラスがいいなと思ってもらえるようにしたい。」や「転入生ともみんなともいっぱい遊んで、なかよくなれるようにしたい。」「みんなのことをいっぱい知ってもらって、転入生がみんなに慣れるようにしたい。」という意見がたくさん出てきた。これらの意見を受けて司会グループの児童と、議題とキーワードを相談して、みんながわかりやすい言葉にまとめた。

その後、議題とキーワードをみんなて共有するために時間をとり、「みんながなかよくなれる」がどのようなイメージなのかを出し合ってから、自分の意見をもてるようにした。

(3) 指導について

本単元では、楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し（第一次）、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り（第二次）、協力し合って実践していく（第三次）という展開で学習を進める。

第一次の事前の活動では、主体的に学習に取り組めるように、議題カードとポストをいつでも書けるように用意しておいたり、日々の中での児童のつぶやきや取り組んでいる行事などと関連付けて、「今、話し合いたい」というような思いがもてるように教師がアンテナをはったり、種まきをしたりするようにしている。

第二次の話合い活動では、話合いに入る前に、前回の学級会や実践でのよかった発言や課題を具体的に伝えることで、今回の話合いへの意欲につながるようにする。「出し合う」「比べ合う」「まとめる」のうち、「出し合う」だけの時間を先に確保することで、次の時間にたっぷり比べ合ってから、「まとめる」に入れるようにする。また、意見を出し合った後に、質問をする時間をとることで、みんなの思いを共有することができるようにする。出し合った意見の数があまりにも多い時には、みんなて相談した上で、「比べ合い」がしやすいように事前に意見をしばっておく。

話合いが停滞したら、提案理由にもどって考えられるように声かけをする。また、意見がつながらない時や話合いの内容についていけない児童が出てきた時などは、教師が積極的に入って、焦点化したり、今何が問題になっているかを整理したりして、どの児童が参加できるようにする。

第三次の事後の活動では、「自分たちで決めて、自分たちでできた」という思いがもてるように、役割分担などを決めた後は、できるだけ児童に任せて、困っている時だけフォローできるようにする。話合い活動の中で、あまり納得がいっていなかった児童の様子を特に気にかけて観察し、前向きに取り組む姿を褒めたり、実践前と実践後の気持ちを確認したりすることで、どの児童も「やってよかった」という思いがもてるようにしたい。

実践後は、ふり返しカードを使って、提案理由を達成できたか100点満点で点数化し、その理由や友達のよさ、もっとレベルアップさせたいところを一人ひとりが振り返る時間を設ける。みんなのふり返しを写真つきでまとめたものを学級会の足跡として残していくことで、次の取組に生かすことができるようにする。

(4) 児童が「読み解く力」を、高め、発揮している姿とそのための手立て

【「読み解く力」の二つの側面】 A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	【「読み解く力」の三つのプロセス】 ①…発見・蓄積：必要な情報を確かに取り出す ②…分析・整理：情報を比較し、関連付けて整理する ③…再構築：自分なりに解決し、知識を再構築する
--	--

<児童が「読み解く力」を発揮している姿>

目的意識

- ・提案者の立場になって聞いたり、みんなて何のために話し合うのかを具体的な姿で確認したりすることで、提案理由をみんなと共有している

A① (発見・蓄積)

・議題や話し合うことを理解し、提案理由やこれまでの経験をもとにして、自分の考えをもつことができている。

A② (分析・整理)

・想起した自分の考えを提案理由に照らし合わせて整理したり、提案する意見を決めたりしている。

B① (発見・蓄積)・・・出し合う

・みんなで意見を出し合う中で、だれがどんな思いをもっているのかを知ろうとしている。

B② (分析・整理)・・・比べ合う

・出し合った意見を比較し、共通点や相違点を見つけて分類したり、整理したりしている。
・質問をしたり、賛成や反対意見に理由をつけて話し合ったりすることで、相手の思いをより正確に理解している。
・提案理由や話合いのめあてに合った意見かどうかを比べながら聞いたり考えを発表したりしている。

B③ (再構築)・・・まとめる

・挙げられた意見に対して不安を感じていることを出した相手の立場に立って考え、解決策を提案している。
・よりよい意見になるように、みんなの思いを大切に最善解や納得解を考えている。

A③ (再構築)

・決まったことを提案理由を意識しながら実践したり、ふり返りをしたりすることで、次の課題につなげようとしている。

<目的意識をもつための手立てや工夫>

目的意識をしっかりともてるように、学校生活や学級目標をふり返り、現状をみんなで考えた上で、議題カードを書く時間を設ける。その際、その議題について話し合うことで、クラスがどんなふうになってほしいのかを考えるように助言し、できるだけ提案理由を具体的に書けるようにする。すでに議題箱や児童のつぶやきから出てきた議題があれば、できるだけタイムリーなものを取り上げるようにする。どの児童も切実感や必要感をもてるように、出てきた議題の中から「今一番に話し合いたいものや困っている人が一番多い」という選定基準を示して、みんなで話し合って議題を決める。

議題が決まったら、提案者やみんなと提案理由を練り上げ、何のために話し合うのかというゴールを共有できるようにする。提案理由は、「今〇〇だから(現状)、△△をして(取り組み)、クラスが●●になるようにしたい(ゴール)」と目的意識がはっきりするようにする。また、提案理由の中からキーワード「みんながなかよくなれる」を決めて、ゴールを意識しながら話合いが進められるようにする。事前に、「みんながなかよくなれる」ということは、どういうことなのかも学級全体でイメージを共有しておく。

目的意識を話合い活動や実践の時まで、もち続けられるように、学級会黒板を利用して、議題や提案理由、めあてなどが常に確認できるようにする。

<各プロセスにおける手立てや工夫>

(分析・整理)

話合いのキーワードを目立たせたアイディアカードを用意することで、提案理由に沿った自分の意見が書けるようにする。

話合い活動では、意見を書いた短冊を移動させたり、賛成反対マグネットを使ったりすることで、意見の共通点や相違点が視覚的にわかりやすいようにする。教師が色分けしながら、挙げられた意見に対して不安を感じていることや解決策を板書することで、話合いを可視化し、どの児童も意見を整理しながら話合いに参加できるようにする。

提案理由や話合いのめあてに合った意見かどうかを比べながら聞いたり、考えを発表したりできるように、提案理由をもとにしたキーワードとイメージイラストを掲示しておくことで、常に意識できるようにしておく。

(分析・整理→再構築)

「比べ合う」や「まとめる」に入る前に、考えを整理して書いたり、友達と相談したりする時間をとることで、これまでに出てきた意見を受け止め、じっくり分析・整理できるようにする。

(再構築)

話し合い活動の最後に、「自分のこと」「仲間のこと」「今日の学級会の点数」について振り返りを書いて、交流する。その中で、自分の考えの変化や深まり、友達の発言のよさに気づくことができるようにする。教師が相手の思いやみんなの思いを大切にしている発言や提案理由に沿った発言を取り上げ、価値づけする。

(再構築→目的意識)

事後の活動について、振り返りを行い、個人がつけた点数を平均したものと、それぞれの理由を学級通信に載せて交流したり、学級会の足跡を掲示物として残したりする。いつでもこれまでの取組が確認できるようにしておくことで、次の議題選定や実践への意欲につながるようにする。

4 単元(題材)の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5 指導と評価の計画(全6時間)

※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準
一	1	○学級会で話し合いたい議題を書く。 (もしくは、議題箱から) (朝のクラスタイムで15分)	・目的意識をしっかりとめるように、提案理由を具体的に書けるようにする。 (目的意識)	□楽しい学級生活をつくるために、学級生活について振り返り、積極的に議題を見つけようとしている。(主)
	2	○議題を選定し、提案理由を共有してから、アイデアカードに自分の意見を書く。(クラスタイム15分×3)	・提案理由を練り上げ、何のために話し合うのかゴールを共有できるようにする。(目的意識) ・話し合いのキーワードを目立たせたアイデアカードを用意することで、提案理由に沿った自分の意見が書けるようにする。→これまでの経験も想起させながら書けるようにする。 (分析・整理) ・学級会黒板を利用して、議題や提案理由、めあてなどが常に確認できるようにする。(見通し)	□提案者の立場になって聞いたり、みんなで何のために話し合うのかを具体的な姿で確認したりすることで、提案理由をみんなと共有している。(知技) □ <u>議題や話し合うことを理解し、提案理由にもとづいた自分の考えをもつことができている。</u> (知技)

二	3	○学級会を開き、話し合う。 (出し合う)	<ul style="list-style-type: none"> ・「出し合う」活動だけ先に行い、出てきた意見の内容を共通理解しておく。出てきた意見の数が多い時には、みんなで話し合った上で、事前に数をしぼり、比べ合いがしやすいようにする。 ・「比べ合う」に入る前に、<u>考えを整理して書いたり、友達と相談したりする時間をとる。</u> (分析・整理) 	<ul style="list-style-type: none"> □<u>質問することで、相手の思いをより正確に理解している。</u> (思判表) □<u>提案理由や話合いのめあてに合った意見かどうかを比べながら書いたり、相談したりしている。</u> (思判表)
	4 本時	○学級会を開き、話し合う。 (比べ合う・まとめる)	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>短冊を移動させたり、賛成反対マグネットを使ったりすることで、意見や思いの相違点が視覚的にわかりやすいようにする。</u> (分析・整理) ・「まとめる」に入る前に、<u>考えを整理して書いたり、友達と相談したりする時間をとる。</u> (分析・整理→再構築) ・<u>振り返りカードに提案理由に沿った話合いになったかを振り返る。</u> (再構築) ・相手の思いやみんなの思いを大切に<u>する発言を取り上げ、価値付けする。</u> (再構築) 	<ul style="list-style-type: none"> □<u>提案理由や話合いのめあてに合った意見かどうかを比べながら聞いたり、考えを発表したりしている。</u> (思判表) □<u>挙げられた意見に対して不安を感じていることを出した相手の立場に立って考え、解決策を提案している。</u> (思判表) □<u>提案理由をもとに、よりよい意見になるように、みんなの思いを大切に最善解や納得解を考え、発表している。</u> (思判表)
	5 6	○話合いで決まったことを実践し、振り返りをす (実践2・振り返り15分×2)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人がつけた点数を平均したものと、それぞれの理由を学級通信に載せて交流したり、学級会の足跡を掲示物として残したりする。 →次の議題選定や実践に生かす。 (再構築→目的意識) 	<ul style="list-style-type: none"> □<u>決まったことを提案理由を意識しながら実践したり、振り返りをしたりすることで、次の課題につなげようとしている。</u> (主)

6 本時の目標（本時：4／6時間目）

キーワード「みんながなかよくなれる」を意識して比べ合い、みんなの思いを大切にしながら最善解や納得解を考えて話し合うことができる。

7 本時の評価規準

提案理由をもとに比べ合い、よりよい意見になるように、みんなの思いを大切に最善解や納得解を考えている。 (思判表)

8 本時の展開 ※実線は、「読み解く力」のAの側面、波線は、Bの側面に関わる留意点や評価規準

	主な学習活動等	指導上の留意点 (・) 評価規準 (□)
1	<p>議題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>議題 「28人なかよしサニーパーティーをしよう」</p> <p>提案理由 「〇〇さんもクラスの仲間になったので、みんなのことを知ってもらってみんなになれてくれるように、このクラスがいいなと思ってもらえるように、いっぱい遊んでクラスみんながなかよくなれるようにしたいから。」</p> <p>めあて 「みんながなかよくなれる」をいしきして比べ合い、よりよい意見にまとめよう。</p> <p>キーワード 「みんながなかよくなれる」</p> <p>決まっていること ・ する日…〇月〇日 (〇) ・ 45分は係タイム、もう45分ですること (二つまで) を考える</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議題や提案理由、めあて、事前に出し合った意見を確認し、目的意識をもって取り組めるようにする。 ・ これまでの話合いのよさや実践について振り返り、活動への意欲を高める。
2	<p>比べ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を比べて分類したり、質問して相手の思いを確認したりする。 ・ めあてを意識しながら、賛成意見や反対意見を出したり、挙げられた意見に対して不安に感じていることへの解決策を考えたりして話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短冊を移動させたり、賛成反対マグネットを使ったりすることで、意見や思いの相違点が視覚的にわかりやすいようにする。 ・ 話合いが停滞したら、提案理由にもどって考えられるように声かけをする。また、意見がつかない時や話合いの内容についていけない児童が出てきた時などは、教師が積極的に入って、焦点化したり、今何が問題になっているかを整理したりして、どの児童も参加できるようにする。 ・ 状況に応じて、ペアやグループで相談する時間を確保するよう司会に助言する。 <p>□提案理由やキーワードに合った意見かどうかを比べながら聞いたり、考えを发表或ししている。 (思判表)</p>
3	<p>まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キーワードを意識しながら、よりよい意見になるようにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>みんなの意見を大切にしながら、うまくまとめる方法はないか近くの人と相談したり、考えをメモしたりする時間をとる。</u>

4	<p>話し合いを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントに「自分のこと」「仲間のこと」「今日の学級会の点数」について振り返りを書いて、交流する。 	<p><input type="checkbox"/>提案理由をもとに、よりよい意見になるように、みんなの思いを大切にした最善解や納得解を考えている。 (思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師から今日のめあてに沿った発言を取り上げて具体的に評価する。
---	---	--

9 授業参観の視点

- ・めあてやキーワードを意識した話し合いになっていたか。また、その手立ては有効であったか。